SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)

J	カ						主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 1									
=	カ テ :i ゴ	非該 当	チェック項目	取組レベル	(県などの取得認証があれば、	1 2 3	4 5	6 /	8 9							
Į.	j			- ,,		2 000	I	Ď .	M	10 steer	©	16 1100	9			
1			【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備 し、差別がないことを確認している	基本	・雇用や雇用条件、教育環境などあらゆる場面において、性別や年齢、障害、国籍等による差別を行わない 方針を役員自ら徹底しているほか、研修体制も構築している		5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3		16.1 16.2 16.7				
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制 を整備している	基本	・ハラスメント禁止について研修時に説明を行っている ・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している		5.1 5.2 5.5		8.5 8.8			16.1				
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	· 労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有しているまた、長時間労働の是正に向けた労働生産性の改善や時間管理など勤務体制の整備を行っている				8.5 8.8							
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	·【予定】外国人労働者に対する差別などが発生しないよう、雇用や雇用条件等の段階から役員が関与する体制を採っている		4.4		8.7 8.8	10.2						
5 人 村	霍		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・ミーティング実施の際、事故防止などの安全面や衛生 管理等を徹底し、労働環境の整備に取り組んでいる	3			8							
9 6 個	并		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・メンタルヘルスに関連する職場の理解を促進するため の取り組みに努めている	3										
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整 備に取り組んでいる	基本	・【予定】多様な人材の活躍状況について、ホームページ等で積極的に発信する		5.1 5.5		8.5	10.2 10.3						
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・新入社員研修など業務に必要な研修の実施に加えて、外部セミナー等へも参加している		4 5.5		8 9							
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・労働基準法に則り対応している		5.5		8.5	10.2 10.3						
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンシ	・労働時間確認など、社員の就労管理を徹底している	3			8							
11			【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	· 廃棄物の種類・量を把握し、適切な分別・処理を実施 している					11.6 12.4	14.1					
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・水道・ガス・電気利用料を月別に把握している			7.3			13					
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】運営予定施設において再生可能エネルギー活用の暖房·空調設備等の設置を予定している			7.2 7.3		12.4	13.3					
14 5	景		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取 り組んでいる	基本	・法令等の周知を行っている	3.9		6.3		11.6 12.4						
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	【予定】地盤を極力傷めない基礎設計や森·水など自然環境に調和する木造建築とするなど、生態系に配慮した建造物の設計を進め、同施設の運営を行う予定である			6.6				15				
16			【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	【予定】運営予定施設において、伐採する木材を建築 材として再利用する計画がある					12.5	14.1					
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンシ	・水道の利用状況を管理しているほか、節水型設備の 導入を促進している			6.4 6.6								

	カ				主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目									
	テゴ	非該当	チェック項目	取組 具体的な取組 1 レベル (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。) 1	2				7 8		11 12 13		16 17	
	ゴーリー				併せて記載してください。)	2 ###	4 III.	5 Rections 6	7:	o a	9 minter 10 arter 4 \$>	11 HATE 12 HATE (S)	14 ************************************	16 PROBLES 17 SHEERING 18 SHEERING
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】エコアクション21又は同等の環境マネジメントシステム規格への理解を進める	;	3.9		6	7		12 13.3	14 15	
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・【予定】運営施設における環境情報について、ホームページ等で積極的に開示を行っていく							12.6		
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】運営予定施設において、再生可能エネルギー利用が可能な設備を積極的に導入し環境負荷が低いエネルギー利用に努めていく				7	7.2		13		
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】伐採する木材を建築材として再利用し、木材の地産地消に努めていく							12.2 13	14 15	
22			【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	·汚職·贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内 浸透を図っている									16 16.5
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を 実施している									16
24	公正な事		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・知的財産を適切に管理し、保護に努めている					8.2 8.3	9			
	な事業慣行		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・社内研修や会議を通じて情報管理ルールを周知・徹底している									16
26		V	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・取り扱っていない(取り扱う予定もない)									16
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪 影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認 識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・取引先との対話を通じて、人権侵害防止や生態系へ の悪影響の防止などについて認識を共有している			5		8	10	12 13	14 15	16 17
28			【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・顧客に対して地域食材を利用した食事類の提供を行っている	;	3.9					12.4		
	製品・サ		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・顧客の声を反映すべく社内研修の充実化を図り、改善につなげている						9			
	ビス		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・地域の観光情報を積極的に配信している ・【予定】運営予定施設について、自然環境に調和する 建造物とし、地盤を必要以上に傷めない基礎とする計 画				6			12 13	14 15	
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・産学官民と連携を進めつつ、地域創生や観光再生に つながる事業に努めている	2	3 4	5	6	7 8	9 10	11 12 13	14 15	16 17

			目 /+ 6/1 +> Fin 40	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17												
	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)		2 3		_ ·		8						
			D. ()D	併せて記載してください。)	frettet	3	4 Hittern 5 Hittern 9	<u>A</u>	7 HATTH-ORE	**************************************	10 425	A 11 12 C		14 ASS	15 Tell 16 Freeze	₩ ₩
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・観光再生事業として地域再生を進めつつ、周辺事業者(同業者等)との共存を目指す運営体制を構築している			4				9	11	12	14	15	17
地域貢献		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレン	・地域の学校施設に対する寄付を行うなど社会貢献に 積極的に取り組んでいる			4					11		14	15	17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレン	・地元産農産物を積極的に使用するなどし地域への貢献に努めている						8	9	11	12	13		
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	·経営者が理念を持ち、適時、経営理念や経営目標について従業員に説明し共有している						8	9					17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築してい る	基本	・従業員に対してコンプライアンスの重要性を共有し、内容周知に向けた対応を行っている											16	i
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備し ている	基本	・責任者(担当役員)を明確にして、体制整備を行っている											16	i
38 組 織		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす 影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・地域の企業や住民との対話を行いながら、地域における活動状況や課題などを情報共有している											16	3 17
39 制		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレン	ジ・経営陣によるリスクマネジメントの徹底に加え、現場で の情報共有を行い、体制整備につなげている											16	i
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレン	・活動状況についてホームページ等で積極的に情報開 デを行いつつ、社会や環境についても責任を持った行動に取り組んでいる											16	i
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレン	・社内規定を定め、事故や災害発生時の対応を確認している ・【予定】BCPの策定							9	11		13 13.1	16	i
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレン	ジ・継続的な人材採用及び人材育成を行っている						8	9					17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組 1	2 3	4 5 6	7 8	9 10 11	12 13	14 15	16 17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)